

清水 志摩子氏 提出資料

(NPO法人全国商店街おかみさん会理事長)

平成26年9月19日(金)
まち・ひと・しごと創生会議

① 地方への新しい流れをつくる

○各市に、全寮制の学校を作る

小・中一貫教育

学校内に教職員住居（無料）

留学生宿舎も用意

- ・各市 としたのは、県の規模では従割になるおそれがある。
- ・学校の建設費等は、国・市はもちろんだが、現在都会で学校経営をされている方や、郷里愛にもえている方々からの寄付をつのり、顕彰碑をたてる。
- ・建築は、出来るだけ地元のきちっと法人税等を払っている業者に依頼する。
- ・手作り出来るところは、出来るだけ地元・教職員・学生・留学生にも協力願う。
（奉仕者・特に若者）
- ・留学生は年齢にこだわらず、国に偏らないよう配慮する。
- ・よき、日本文化を理解していただく。
- ・教職員は、若い先生と年配者（人生経験豊かな）との組合わせで、生徒全員に目が届くと同時に若い先生の精神面でのケア 又、子供達には家庭的な面でのフォローをする。
- ・現在の教職員は、教育委員会等への提出書類等に時間を取られすぎている 又、校長の権限がなきに等しく（人事件等）皆、幹部職員は教育委員会に目が向いている。
- ・校長は、その学校の最高責任者であるという事を徹底する。
- ・校長以下先生方は、出来るだけ時間的に余裕を持ち、生徒との話し合い・地域社会との連携をはかる。
- ・親が子供達の成長を見るため、訪問用に敷地内に簡易宿泊施設を設ける。
- ・親族及び生徒が、現地訪問・帰省の際、各交通機関に特別割引料金の協力を仰ぐ。

② 地方にしごとを作る

○都会で成功を納めている 又、活発に活動している郷土愛を持ち続けている方10人位を選び、無報酬で（旅費・弁当・交通費のみ支給）どうしたら産業が生まれるか雇用はと、会議する。これは、市長・議員を含む（一般市民も公聴させる）無報酬としたのは、しばらく何でも意見を言えるようにするため。

- ・保育園・幼稚園の一元化
- ・学校の近くに学童保育の場所を設ける。
- ・学童保育を小3までではなく小6までにする。
- ・学童保育に出来るだけ地元の年配者が参加し、手伝い、1人の学童に1人の年配者が付き、長くその子の成長を見守る。